

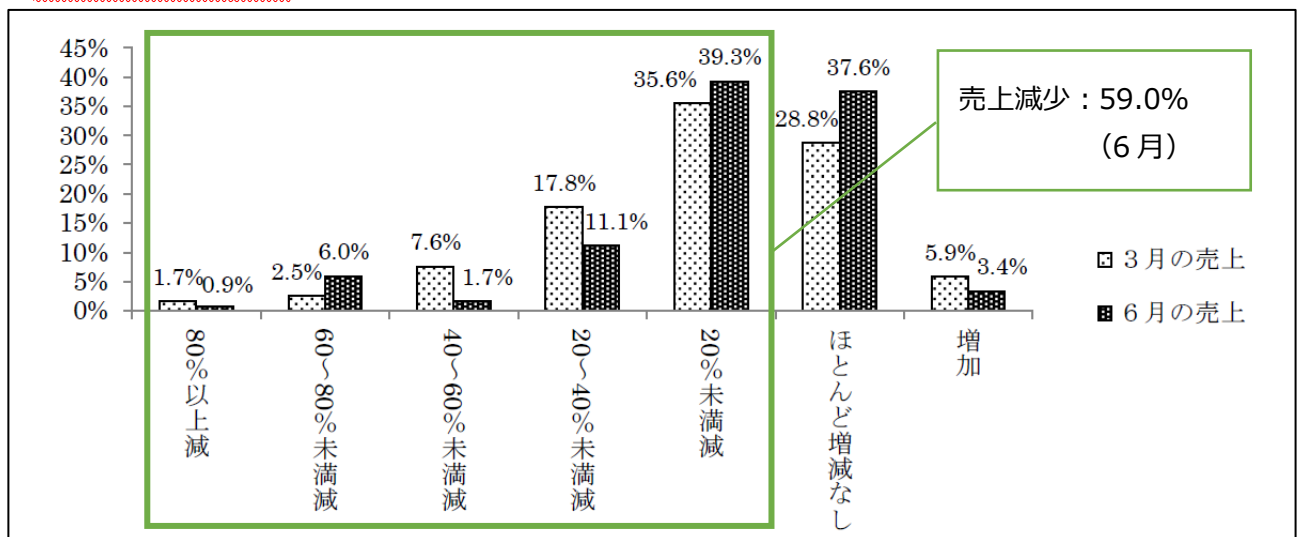
2020年9月14日

**穴吹不動産流通（株） 広島店 市況レポート（9月）**
**～広島県の産業経済動向について～（広島県商工労働局 2020年8月19日発表）**

広島県の産業経済動向調査において、新型コロナウイルス感染症の影響を含む「最近の経営環境に関する調査」が8月に実施され、調査結果が発表されました。

**1. 2020年6月の売上げの影響について**

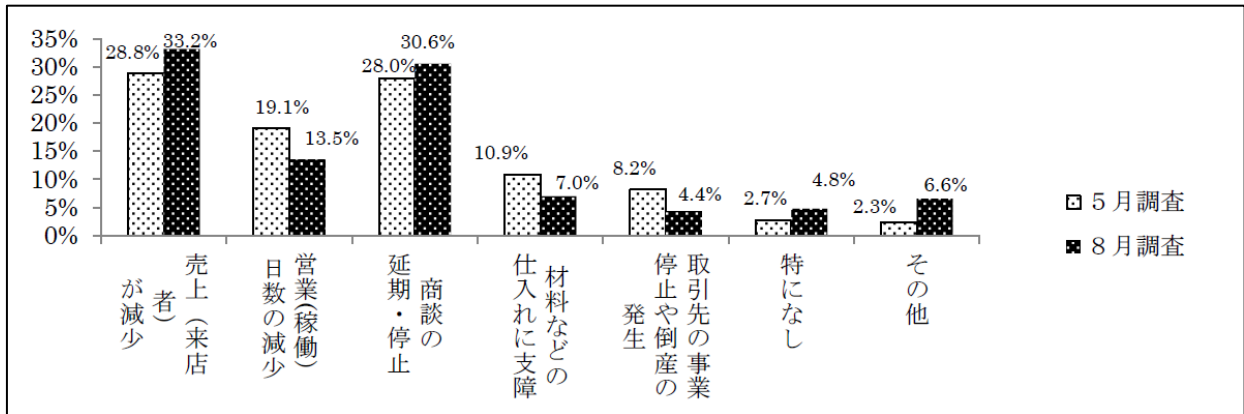
売上げが減少と回答した企業は全体のうち、59.0%となりました。前回調査の65.2%から6.2ポイントの減少となっているものの、回答の過半数は売上が減少している状況です。



出典：広島県商工労働局、『最近の経営環境に関する調査結果について』,2020年8月

**2. 現在の影響内容について**

新型コロナウイルスの現在の影響内容については、「売上（来店者）が減少」が最も多い33.2%となっています。次いで、「商談の延期・停止」が30.6%、「営業（稼働）日数の減少」が13.5%となっています。

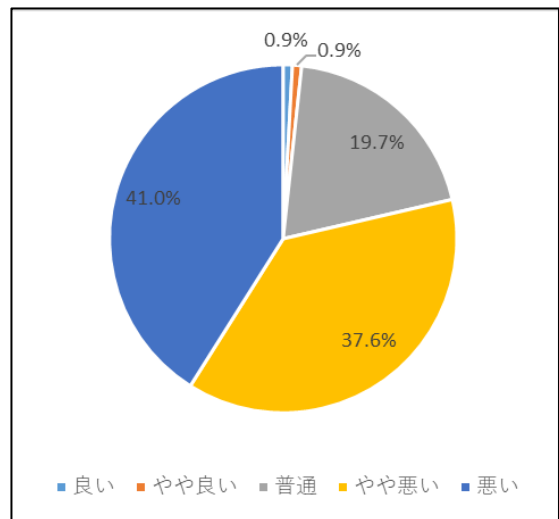


出典：広島県商工労働局、『最近の経営環境に関する調査結果について』,2020年8月

### 3. 最近の景況感について

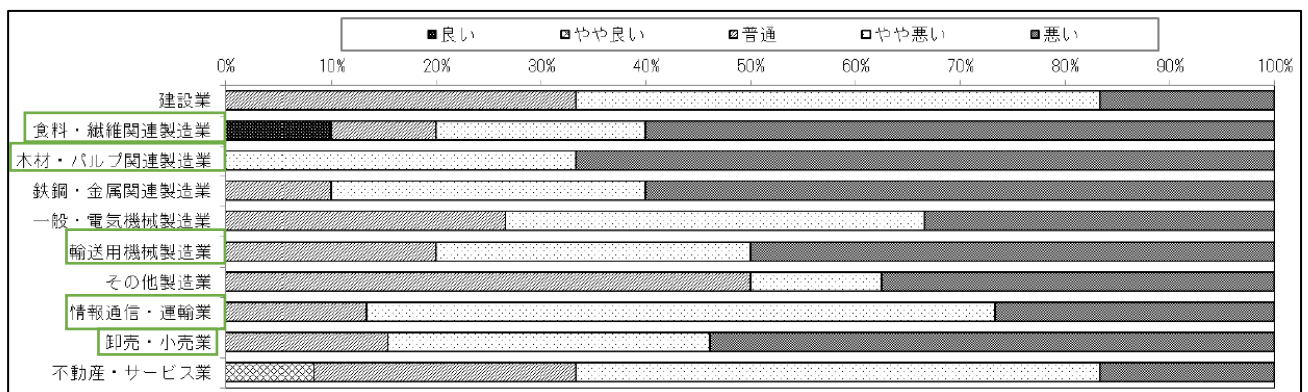
最近の景況感について、「悪い」と回答した企業は 41.0%であり、「やや悪い」と回答した企業は 37.6%となっています。

**全体のうち、78.6%の企業が「悪い」もしくは「やや悪い」と感じているということが分かります。**



業種別にみると、「悪い」もしくは「やや悪い」と回答した割合が 8 割を超えている業種として、「食料・繊維関連製造業」、「木材・パルプ関連製造業」、「輸送用機械製造業」、「情報通信・運輸業」、「卸売・小売業」が該当しています。

業種別にみると、「悪い」もしくは「やや悪い」と回答した割合が 8 割を超えている業種として、「食料・繊維関連製造業」、「木材・パルプ関連製造業」、「輸送用機械製造業」、「情報通信・運輸業」、「卸売・小売業」が該当しています。

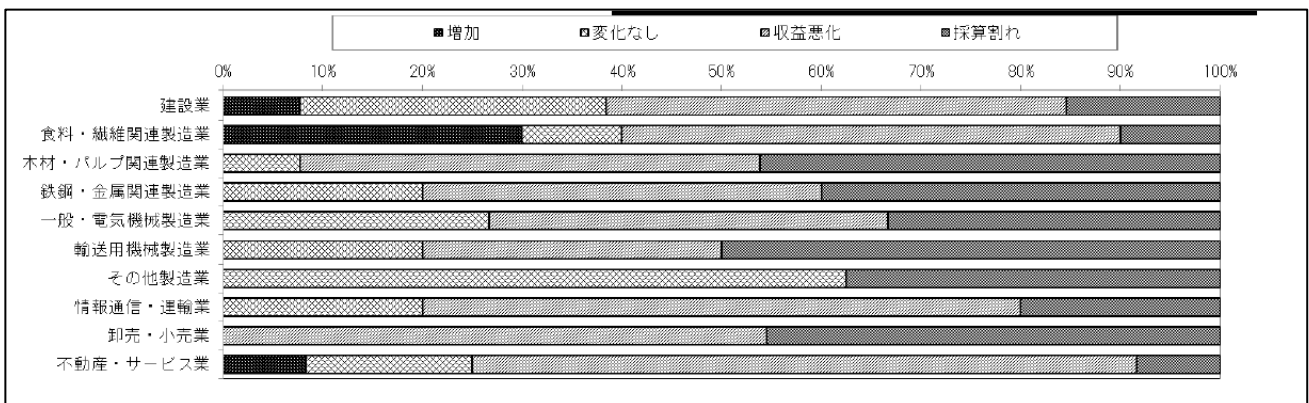
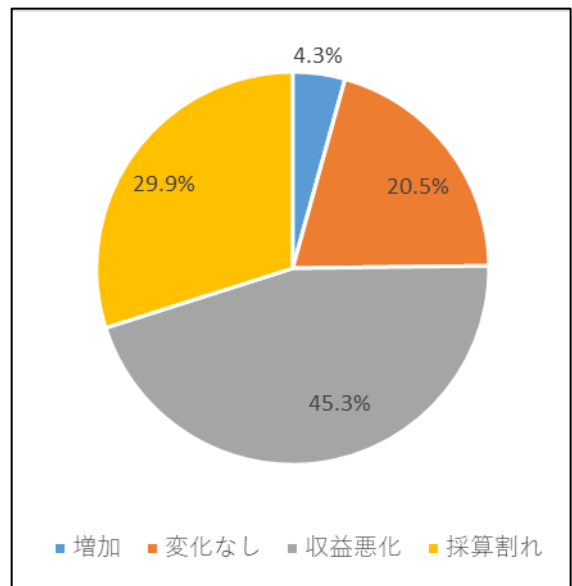


出典：広島県商工労働局、『最近の経営環境に関する調査結果について』,2020年8月

#### 4. 収益状況について

全体のうち、「採算割れ」もしくは「収益悪化」と回答している企業が 75.2%となっています。

業種別にみても、「**食料・繊維関連製造業**」では約 30%が「増加」したと回答しています。他方で、「採算割れ」もしくは「収益悪化」と回答した企業の割合が約 8割を占める業種として、「木材・パルプ関連製造業」、「輸送用機械製造業」、「情報通信・運輸業」が該当している結果となりました。

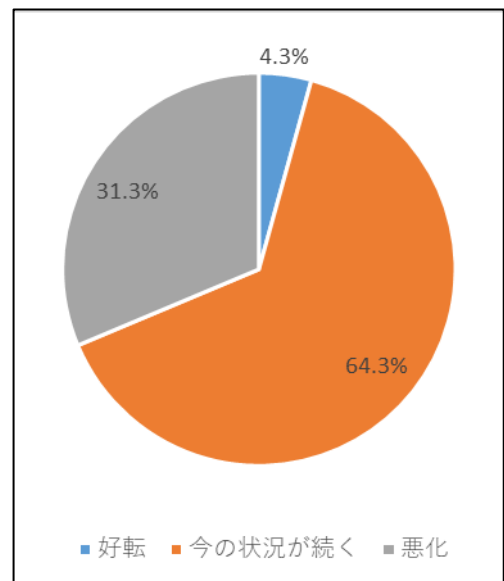


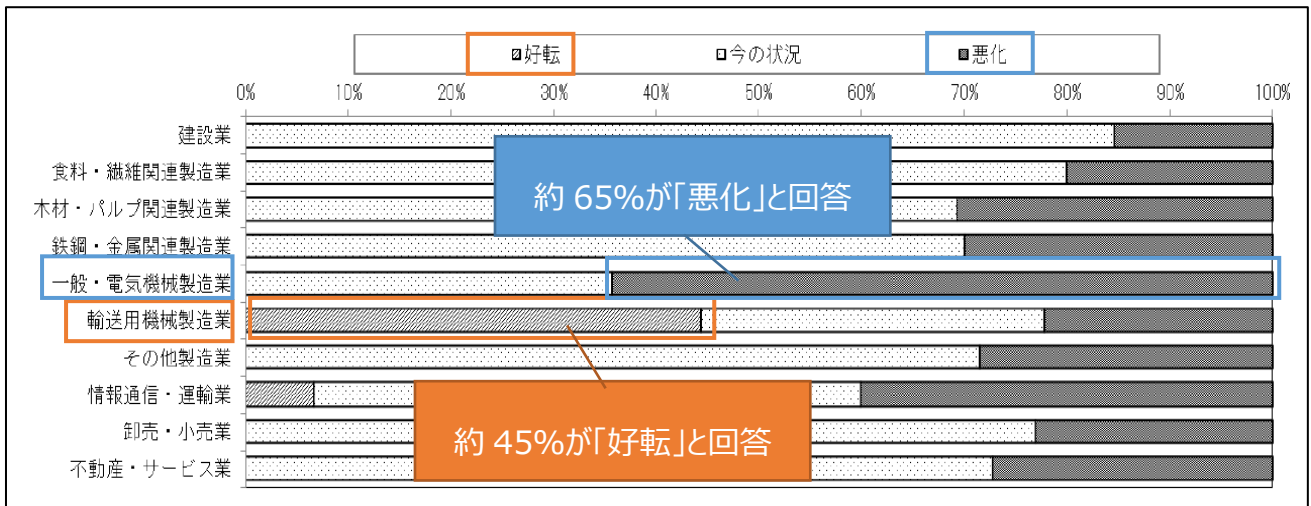
出典：広島県商工労働局、『最近の経営環境に関する調査結果について』,2020年8月

#### 5. 今後の経営の見通しについて

今後の経営の見通しについて、「今の状況が続く」と回答した企業が 64.3%であり、過半数を占め、「悪化」と回答した企業は 31.3%となりました。

業種別にみても、「一般・電気機械製造業」のうち、約 65%が「悪化」と回答しています。一方で、「**好転**」と回答した業種は「**輸送用機械製造業**」が約 45%と他業種と比較して高い結果となりました。





出典：広島県商工労働局、『最近の経営環境に関する調査結果について』,2020年8月

## 6. まとめ

新型コロナウイルス感染症の影響として、「売上が減少」と回答した企業が59.0%と過半数を占めている状況です。また、最近の景況感について、「悪い」もしくは「やや悪い」と回答した企業は78.6%と調査実施には緊急事態宣言は解除されていたものの依然として、影響が出ている状況が読み取れます。

今後の見通しについては、全体の傾向としては、「今の状況が続く」と回答した企業が64.3%と過半数を超えていますが、業種によって見解が異なる結果となりました。「ウィズ コロナ」の時代へ移行している今日において、先行きの不透明感はあるものの、新しい生活様式に順応した事業展開を見据えることによって、今後の見通しの見解に差異が出てきているのではないのでしょうか。

今後の見通しを考えるにあたって、まずは現在のご所有の資産価値を把握されることも一つの方法です。不動産のことで疑問やご質問がございましたら是非**あなぶき不動産流通**にご相談ください。大切なご所有不動産の有効活用に向けて、お力添えいたします。